

決算

●問い合わせ先 財政課(合志庁舎)
☎(248)1667

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成29年度決算の概要を地方財政状況調査表(決算統計)に基づいてお知らせします。決算統計とは、総務省の基準により決算を分析したものです。

決算額は、ヴェイブルの災害復旧工事など平成28年度中に事業が完了せず、繰り越した財源を含め、歳入歳出とも過去最高額となりました。※数値は円単位を千円単位にまとめています。



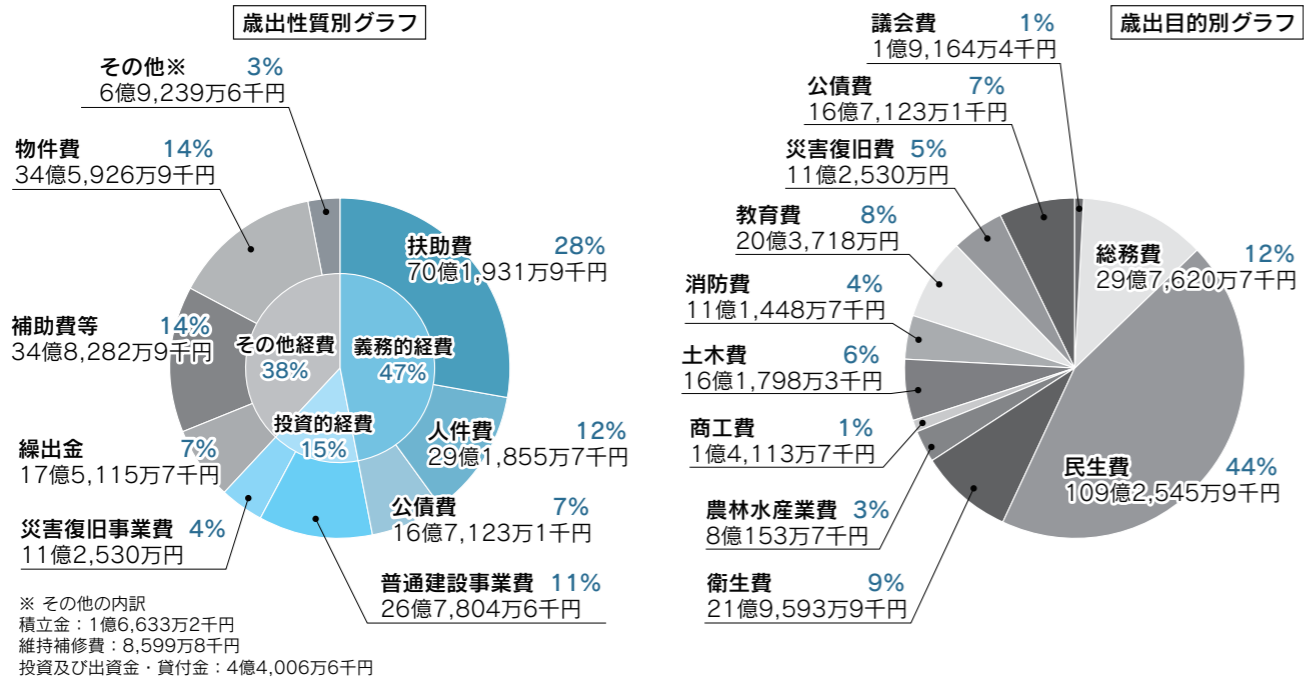
市の貯金と借金(平成29年度末)

(貯金) 財政調整基金	34億6,538万5千円		
減債基金	5億3,970万5千円		
特定目的基金(4基金)	27億9,893万9千円		
合計	68億402万9千円	市民1人当たり 110,362円

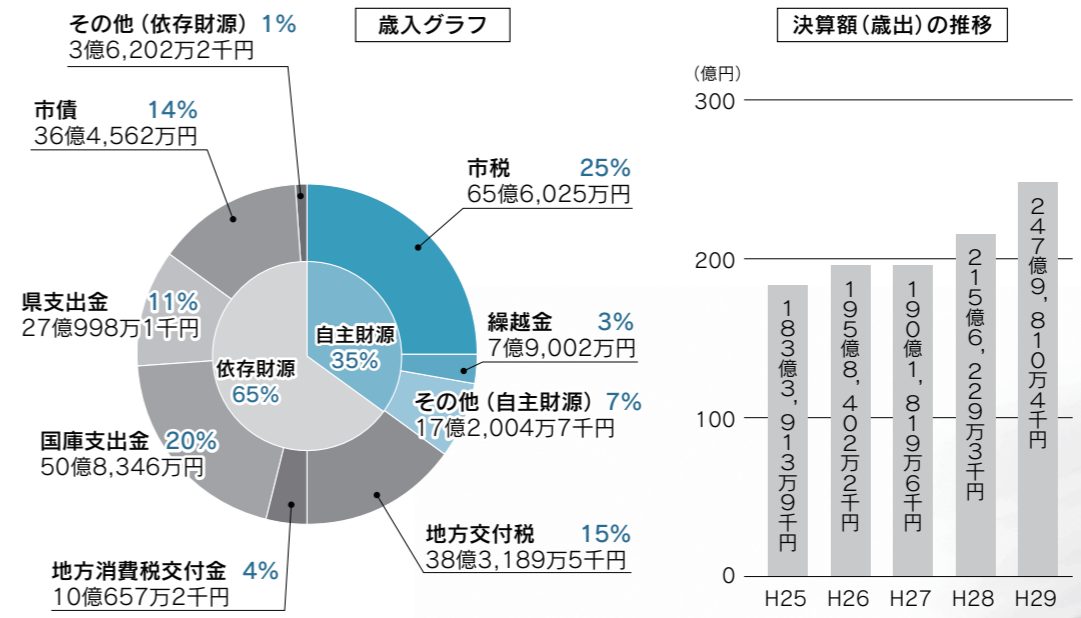
(借金) 地方債(一般会計のみ)	189億8,032万4千円	市民1人当たり 307,862円
地方債(企業会計含む)	304億2,624万9千円	市民1人当たり 493,516円

※人口は平成30年3月末の人口(61,652人)で算出しています。

一般会計の歳出 247億9,810万4千円



一般会計の歳入 257億986万7千円



収入の状況

一般会計の歳入は257億986万7千円で、平成28年度に比べて28億9,755万4千円(12.7%)増えています。これは、市税や国庫支出金、市債が増えたことが主な要因です。

市民の皆さんが納めた市税(市民税や固定資産税、軽自動車税など)は、平成29年度決算で歳入の約25%を占めています。平成28年度と比べて、8,402万1千円増えています。

支出の状況

一般会計の歳出は247億9,810万4千円で、平成28年度に比べて32億3,581万1千円(15.0%)増えています。これは、教育・保育施設給付費、合志庁舎増築工事費、ヴェイブル災害復旧工事費などが主な要因です。市民1人当たり、約40万2千円が支出されたこととなります。

歳出を目的別に見ると、民生費が44%、総務費が12%、衛生費が9%、教育費が8%となっています。

性質別では、扶助費が28%、物件費14%、補助費など14%、普通建設事業費11%となっています。

一般会計の決算状況・実質収支

実質収支額は8億1,742万円で、平成28年度に比べて9,438万8千円減りました。また、実質収支額8億1,742万円は平成30年度予算へ繰り越しました。

歳入総額 257億986万7千円	—	歳出総額 247億9,810万4千円	=	差引額 9億1,176万3千円
上記差引額 9億1,176万3千円	—	翌年へ繰り越すべき財源※ 9,434万3千円	=	実質収支額 8億1,742万円

※平成29年度中に事業が完了せず、30年度に繰り越す財源

特別会計の決算額

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	76億109万2千円	72億6,924万5千円	3億3,184万7千円
後期高齢者医療特別会計	5億3,467万6千円	5億3,234万1千円	233万5千円
介護保険特別会計	42億7,271万6千円	41億3,650万9千円	1億3,620万7千円